

各館情報

Aブロック 建物をかたどったやきもの

1	みよし市立歴史民俗資料館	みよし市三好町陣取山44-1	0561-34-5000
2	三河天平の里資料館	豊川市八幡町忍地108ほか	0533-88-5881
3	蒲都市博物館	蒲都市栄町10-22	0533-68-1881
4	西尾市資料館	西尾市錦城町229	0563-56-6191
5	とこなめ陶の森 資料館	常滑市瀬木町4-203	0569-34-5290

※3蒲都市博物館の開催期間は、7月20日～9月1日です。

Bブロック 家の中でつかうやきもの

6	岩崎城歴史記念館	日進市岩崎町市場67	0561-73-8825
7	豊田市民芸館	豊田市平戸橋町波岩86-100	0565-45-4039
8	知立市歴史民俗資料館	知立市南新地2-3-3	0566-83-1133
9	東海市立平洲記念館・郷土資料館	東海市荒尾町蜂ヶ尻67	052-604-4141
10	東浦町郷土資料館（うのはな館）	知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4	0562-82-1188

Cブロック 瓦

11	刈谷市歴史博物館	刈谷市逢妻町4-25-1	0566-63-6100
12	幸田町郷土資料館	額田郡幸田町大字深溝字清水36-1	0564-62-6682
13	大府市歴史民俗資料館	大府市桃山町5丁目180-1	0562-48-1809
14	知多市歴史民俗博物館	知多市緑町12-2	0562-33-1571
15	高浜市やきものの里かわら美術館・図書館	高浜市青木町九丁目6番地18	0566-52-3366

Dブロック 壁

16	瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸市蔵所町1-1	0561-97-1190
17	豊橋市美術博物館	豊橋市今橋町3-1	0532-51-2882
18	西尾市岩瀬文庫	西尾市亀沢町480	0563-56-2459
19	安城市埋蔵文化財センター	安城市安城町城堀30	0566-77-4490
20	半田市立博物館	半田市桐ヶ丘四丁目209-1	0569-23-7173

素敵なやきものをありがとう！

愛知のやきもの賞 宇瓦花器
制作：近藤 奈津季さん

2024年にとこなめ陶の森陶芸研究所を
修了した作家さん。
現在、常滑市で制作活動をされています。
これからの活躍が楽しみです。

愛知のやきもの賞とパーフェクト賞を作ってくれた、
若手の作家さんを紹介しますよ！

2020年にとこなめ陶の森陶芸研究所を修了した
作家さん。現在、常滑市で制作活動をされて
います。各地で個展を開いたり、
四日市萬古陶磁器コンペ 2023 では
BANK0300th 特別賞を受賞されるなど、
ご活躍中です。

パーフェクト賞 シーラカンス蓋物
制作：山口 江太さん

とこかめ

Aichi

やきもの HISTORY

家とやきもの 2024

令和6年
7月13日(土)
～9月8日(日)

※参加施設の詳しい情報は、ウラ面をご覧ください。
各館ごとに開館日、開館時間が異なります。
ご確認のうえ、お出かけください。



やきものシールラリー 開催!!

今回のやきものヒストリーは、「家とやきもの」！家や建物にかかわる
やきものってなんだろう？県内各地のやきものヒストリーを追いかけてよう！
対象施設をめぐる、やきものシールをあつめて、素敵なプレゼントをゲット
してね☆

3館賞 お好きな3館をめぐる、3つのシールをあつめると、「3館賞」を
プレゼント！賞品は、各館で用意しています。
賞品：クリアファイル、勾玉製作キット、トートバッグなど、各館で異なります。
※賞品内容は、各館にお問い合わせください。

愛知の
やきもの
賞

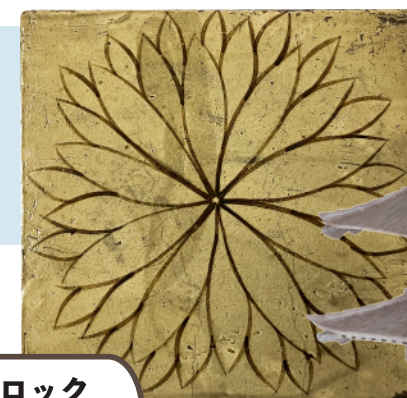
A、B、C、D 4つのブロックに分けられた対象施設を
めぐり、やきものをみてシールを集めて、いずれかのブロックで
パーフェクトを達成すると、「愛知のやきもの賞」をプレゼント！
賞品：宇瓦花器（抽選20名様、賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。）

パー
フェクト
賞

対象施設すべてをめぐる、やきものをみてシールを集めて
パーフェクトを達成すると「パーフェクト賞」をプレゼント！
賞品：シーラカンス蓋物
（抽選5名様、賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。）

シールシートは
お1人様につき1枚で
お願いいたします。

※花や菓子は賞品には含まれません。



シールをはってね！



A 建物

かたどった
やきもの

①みよし市立
歴史民俗資料館

②三河天平の里資料館

③蒲郡市博物館

④西尾市資料館

⑤とこなめ陶の森
資料館

B 家の中

で、
つかう
やきもの

⑥岩崎城歴史記念館

⑦豊田市民芸館

⑧知立市歴史民俗資料館

⑨東海市立平洲記念館・
郷土資料館

⑩東浦町郷土資料館
(うのはな館)

C 瓦

⑪刈谷市歴史博物館

⑫幸田町郷土資料館

⑬大府市歴史民俗資料館

⑭知多市歴史民俗博物館

⑮高浜やきものの里
かわら美術館・図書館

D 壁

⑯瀬戸蔵ミュージアム

⑰豊橋市美術博物館

⑱西尾市岩瀬文庫

⑲安城市
埋蔵文化財センター

⑳半田市立博物館

縄文時代のやきもの

縄文時代には各地で地域色豊かな縄文土器が作られ、他の地域の土器の形や作り方に影響を与えあっていました。愛知県がある東海地方は、東は関東地方、西は関西地方、北は中部地方と北陸地方に接しているため、これらの地方の影響を受けた土器が多く見られます。縄文時代の東海地方では、日本列島各地の文化が行き交っていたことがわかります。

弥生時代のやきもの

紀元前4～3世紀（一説には紀元前10世紀）ころ、大陸から北部九州にコメ作りが伝わりました。これにより、日本は食物を獲る時代から作る時代へと変化しました。土器も、たくわえるための壺や炊く甕が多く作られ、他にも盛り付ける高坏や鉢が使われるようになりました。

古墳時代のやきもの

弥生土器を引き継ぐ土師器と、新たに朝鮮半島から技術が伝わった須恵器があります。土師器は各地で作られますが、須恵器はより高い温度で焼くための窯が必要で、製作地は限られます。新来の須恵器は様々な形を生み出し、装飾豊かなものも多くあります。古墳に並べられる埴輪は、筒形の他、家形や動物形、人形等が作られました。

古代のやきもの

古墳時代に伝わった須恵器は、その後もたくさん作られ、奈良時代になると愛知県は猿投窯をはじめとする、やきもの的一大生産地となりました。さらに平安時代になると、淡緑色をした緑釉陶器や灰釉陶器といった高級な陶器を作るようになります。これらの陶器は、当時の都をはじめ全国各地に運ばれていきました。

中世のやきもの

平安時代後期から東海地方の各地で山茶碗の生産が行われました。鎌倉時代になると、山茶碗の生産をベースとして瀬戸窯で施釉陶器、常滑・渥美窯で壺・甕・鉢を主体とした焼締陶器の生産が開始されます。特に、瀬戸窯は国内で唯一の施釉陶器を生産した窯として有名で、常滑窯とともに中世を通して生産が行われていきました。

近世のやきもの

中世に引き続き、瀬戸窯・常滑窯が大きな産地です。瀬戸窯では筆で絵の描かれたやきものが盛んに作られますが、19世紀にはそれまでの陶器に加えて磁器がつくられるようになります。常滑窯では甕等の大物が主力ですが、19世紀には急須や茶道具等も作られ始めました。他に名古屋等、各地で様々なやきもの産地が生まれました。

近代のやきもの

明治時代以降、海外向けの陶磁器生産が大きく進展していきます。それと共に、西洋からの新技術の導入、生産工程の工業化、鉄道網の整備や名古屋港の開港、貿易商社の集結といった、やきものの生産・流通・販売などの各方面で近代化されていきました。その一方で、陶芸という美術工芸の分野が芽生え、発展していきました。

愛

知

や

き

も

の

ヒ

ス

ト

リ

ー

大

近

現

代

むかし

5000

縄

2500

文

1000

500

時

400

代

300

弥

200

生

100

↑紀元前

0

↓紀元後

時

100

代

200

300

古

400

墳

500

時

600

代

700

奈

800

良

800

平

900

安

1000

時

1100

鎌

1200

倉

1300

室

1400

町

1500

戦

1600

国

1700

代

1800

江

1900

門

2000

近

現

代

いま